

長年の功績に深く敬意を表します

平成26年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々が表彰されました。



工藤 則子氏
(昭和町・78歳)

昭和52年から36年間、民生委員児童委員として、福祉行政に多大な貢献をされました。特に、大館市民生委員児童委員協議会会長を6年間、秋田県民生児童委員協議会副会長を3年間務めるなど、指導的な役割を担い、民生委員児童委員の資質向上に大きく寄与されました。

また、昭和55年から31年間、保護司として更生保護の推進に努めたほか、昭和62年から20年間、大館地区少年保護育成委員を務め、地域における少年の非行防止や保護に尽くされました。



笹木 金彦氏
(蛭沢・78歳)

昭和48年から現在までの41年間の長きにわたり、行政協力員として市政の円滑な運営に尽力されました。この間、行政協力員連絡協議会副会長を務め、行政協力員の指導的な役割を果たされました。

また、田代町公民館越山分館長を24年間務め、地域住民の教養向上、健康増進に寄与されました。

更に、大館市社会福祉協議会副会長、大館たばこ販売組合理事長、越山十日会会長など、現在も多方面にわたる役職にあり、市政に多大な貢献をされています。



佐藤 一秀氏
(川口5区・70歳)

平成11年から平成23年までの3期12年間、大館市議会議員として地方自治発展に尽力されました。この間、平成15年には企業会計決算特別委員長、平成17年からの2年間は教育産業常任委員長の要職を歴任し、円滑な議会運営に努められました。

また、平成13年から平成17年にかけて大館周辺広域市町村圏組合議会議員を務めたほか、議会選出監査委員に2度選出されるなど、行政運営、財務管理に優れた見識を有し、常に本市発展のため尽力されました。



佐藤 祥男氏
(長倉町・77歳)

昭和57年から昭和61年までの保健センター指導医、平成6年から現在までの同センター運営委員会委員を初めとして、32年間の長きにわたり、数多くの役職を歴任し、本市の医療、保健、福祉の充実、向上に尽力されました。

特に、休日夜間急患センターの設立に尽くし、地域の一次救急医療の確保に大きく貢献されました。

現在も、国民健康保険運営協議会委員、国民保護協議会委員、大館能代空港利活用大館地域推進会議監事を務めるなど、広く活躍されています。



高橋 清氏
(水沢・81歳)

平成11年に比内町農業委員に就任し、合併後も大館市農業委員として通算4期12年間にわたり、本市農業の振興と発展に尽力されました。

また、平成8年からの4年間、比内町公民館小泉分館長を務め、地域住民の教養向上、健康増進に寄与するとともに、地域コミュニティの形成に尽くされるなど、地域のリーダーとして精力的に活動を展開されました。

更に、昭和53年から現在までの36年間、行政協力員として、地域と行政の連絡、調整に努められています。